

## ◆Semester2始業・探究発表会

Semester1は、初めての体育祭、初めての NZ 外国語学研修、初めての海外フィールドワークなど、初めてづくして、生徒にとっては挑戦する6か月になったのではないのでしょうか。保護者の皆様におかれましても多大なるご協力ありがとうございました。さて、後半戦である Semester2が始まります。Semester2では Semester1とは違い、大宮国祭や MMF (Mois Music Fes) など昨年度実施した2度目の行事が待っています。昨年の経験や反省、Semester1で学んだことを、さらに継続して探究していけるよう、生徒も教職員も気持ちを新たにスタートしていこうと思います。

さて、Semester1最終日である、10月7日(土)には探究発表会が行われました。探究発表会とは、Semester1の集大成として、各学年が3G project で探究してきたことを発表する行事で、1年生は緊張した面持ちでしたが、この半年間の学びの成果を存分に発揮していました。そして、4年生は MYP の集大成として、3年生から約1年間かけて探究してきた Personal Project で自分が学んだことを発表しました。

それぞれの学年が、自分の探究の成果を発表し、互いの成果から学び合うことができたようです。

	3G Project テーマ
1学年	「What is MOIS?」
2学年	「SDGs in Groups」
3学年	「New Zealand 語学研修」
4年次	「Personal Project」
5年次	「Inquiry Project」
留学 帰国者	「Overseas Experience Talks (留学報告会)」



## ◆評価保護者説明会・保護者向け IB ワークショップ

9月9日(土)に、評価保護者説明会・保護者向け IB ワークショップが開催されました。評価保護者説明会では、MYP 課程である1年生～4年生の保護者の方に IB の評価方法について、5年生の保護者の方には Liberal Arts コースと STEM コースの評価方法について説明会を行いました。通知表の見方など、ただ説明を聞くだけでなく、保護者の方にもグループで対話してもらい、評価についての疑問点や評価に関して様々なことを話し合う有意義な時間となりました。

保護者向け IB ワークショップでは、「概念に基づく学習」「探究学習」「ATL スキル」というこの3つのテーマでワークショップが行われました。概念学習・探究学習とは何か、そもそも「概念」・「探究」とは何か、保護者の方と一緒に考える機会となりました。生徒も同じように日々探究学習に励んでいることが伝わったかと思います。ご参加いただき誠にありがとうございました。



## 「Welcome to MOIS」

IB コーディネーター: Brad Semans

Of course, all of the members of the MOIS community are interested in what goes on in our school. But did you know that there are a large number of visitors to our school that are also interested in seeing what we're doing. Representatives from various schools, government offices, and even businesses here in Japan visit MOIS all the time. In fact, this is so common that MOIS students barely react with a group of men and women in business suits into their classrooms.

What interest in our school extends beyond our own borders. In this IB column, I'll introduce some of our recent visitors from abroad and their thoughts on our school.



On September 21, Ms. Erin Brown visited MOIS. Ms. Brown is a graduate student at the University of Washington in Washington state, USA. She's studying education and is currently doing research here in Japan at the University of Tokyo. During the summer vacation she visit our school to talk about our educational program. Then at the end of September, she came and watched lessons. Ms. Brown was able to talk with many students about their experiences, watch some lessons, and even speak with some of our teachers.

After her visit, she said, "All of the students I spoke with had positive and diverse things to say about their experiences at MOIS. They are very ambitious and mature when it comes to explaining and sharing their work. It is quite impressive what you all make happen there."



Also in late September, our school was visited by Ms. Bethany Iyobe, who is a coordinator at Duquesne University in Pittsburgh, USA. Ms. Iyobe what is the person who organized the program in Pittsburgh this year's fifth grade students attended. During her trip to the school, Ms. Iyobe was able to catch up with some of those students. She also gave a presentation to a small group of students who are interested in studying in the United States in the future. She introduced Duquesne university and the benefits of studying in the USA.

Like Ms. Brown, Ms. Iyobe was very impressed with our school. More importantly, she said that all of the university professors and staff at Duquesne University have been very impressed with our students and are looking forward to meeting next year's cohort.

Of course, we'll have more visitors coming soon. Over the next few weeks visitors from New Zealand will also be coming to our school. So keep your eyes out and greet our visitors with a smile.

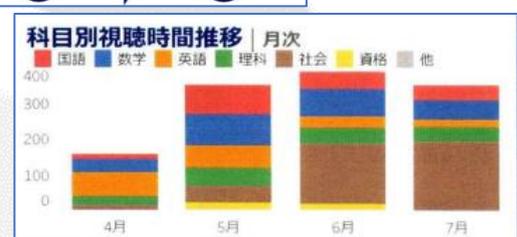
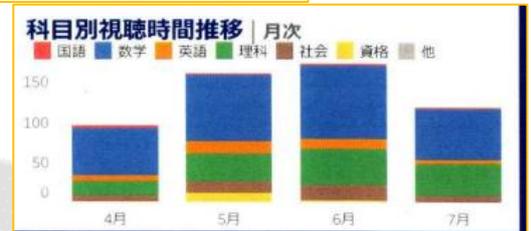


### TOPIC : スタディサプリ

本校では、生徒全員がスタディサプリの会員となっており、日々の学習で活用しています。右のグラフはスタディサプリ活用度を表すグラフとなっており、前期課程生、後期課程生ともに全体の3/4が積極的に利用しています。これは、スタディサプリを取り入れている学校の中でも、トップクラスの活用度となっています。

学習内容としては、授業の予習・復習や課題、また、教員から指定されていなくても自ら学習している生徒もいます。前期課程生は特に数学や理科を、後期課程生は様々な教科をスタディサプリで学習しています。

授業で学ぶことと、スタディサプリで学ぶことを目的ごとに区別することで、学習の効率化や生徒の自宅での学習に役立っているようです。



### 1学年 「相手を知り 自分と向き合う」

1学年担当:松山 侑紀

1学年では、キャリア教育の一環である「人生インタビュー」というプログラムがスタートしました。第1回は、「人は何のために仕事や勉強をするのか」について考えたり、職業適性検査をしたりして、過去の自分や、未来について考える時間となりました。第2回は、各教科の教員から、普段の生活や将来の職業にその教科がどのように役に立つのかを聞き、それぞれの教科の強みや学ぶことのメリットについて考えました。第3回は、教員に人生インタビューを行いました。相手の人生について「知る」ことを通して新しい考え方を得たり、自分自身のアイデンティティの形成に役立てたりとこれからの人生設計に生かせる何かを得られたのではないのでしょうか。このプログラムは今後、仕事塾への参加や身の回りの大人にインタビューをする活動に続いていきます。様々なお仕事や経験をされている方の話を聞くことで、視野を広げたり、今後の目標を持ったりするきっかけにしてほしいと思います。

↓ 第2回 人生インタビューの様子



↑ What is MOIS ポスター 作成中

3G Projectの「What is MOIS?」では、10月7日(土)の探究発表会で自分たちが探究してきた成果を発表しました。6月にスタートしたこの単元では、MOISでの教科や生活に関して2人一組で探究してきました。学習目標やルーブリックを自分たちで設定したり、成果物を完成させるまでの具体的な計画を立て、自分たちが行ったプロジェクトについて行動のエビデンスを示しながらアドバイザーに説明したりしました。これは多くの生徒にとって初めての経験でしたが、各自がATLスキルを活用しながら実りある探究活動を行えたことが伺えました。

## 2学年 「校外学習の立役者」

2学年担当：山下 紘輝

先日、2年生は校外学習として、上野に行きました。本校開校以来はじめて行う行事でしたが、生徒の働きぶりや行事に向けての精力的な活動の甲斐があり、充実した校外学習にすることができました。充実した校外学習の立役者ともいえる生徒の様子を紹介させていただきます。

まずは、委員会の生徒たちです。校外学習のルールは、HR・ML (MOIS LIFE) 委員の生徒が主導で決定しました。放課後などの限られた時間で、何度もルールについて協議を重ねながら作成していました。また、集会を通して、MOIS 生としてルールやマナーを守る意義について伝えてくれたことは、有意義な校外学習につながっていったと感じます。

また、校外学習のグループでは、班長を中心に行き先や出費について自分たちで考え、決定しました。班長や副班長はリーダーとして、グループをまとめながら、責務を全うしました。記録係は、事後学習に向けて、テーマである「上野にはなぜ人が集まるのか」を考えるための写真を撮影したり、文章にまとめたりして一生懸命取り組んでいました。また、出費についてはグループで計算することになっていたため、会計係が率先して取り組んでいました。このように、4期生一人一人が責任感をもって、自らの仕事に取り組めたことは素晴らしいことだと思います。今回の行事は、今後、控えている国内外の校外学習につながる有意義な機会となりました。

国立西洋美術館にて



## 3学年 「未来を見据えて」

3学年担当：神山 裕章

夏休みが明けて間もなく、「いのちの支えあいの授業」が行われました。今回は「挫折」という題で、2人の先生方それぞれの経験談を話されました。一人の先生は高校生の時、心の中にいろいろな葛藤があり、眉を剃って制服に刺繍を施して登校したことがあったとお話くださいました。また、もう一人の先生は学生時代の成績は常にトップクラスであったにもかかわらず、大学卒業後の就職活動では自分が希望した有名企業への就職はかなわなかったとお話くださいました。お二人の話から、人は必ずしも自分が思い描いた通りの人生を歩んでいるわけではないことを生徒たちは感じ取ったようでした。

LHR では4週にわたり「未来の自分分析プログラム」に取り組みました。希望している進路に近い仲間と2~3人のチームを組み、①MOIS のコース、②大学の学部・学科、③職業・資格、④MOIS 在学中にできる活動、⑤MOIS 卒業後にできる活動の①~⑤のいずれかを選び、選んだものがどのように自分の将来のイメージにつながるかを調べ、A3のポスターにまとめ、学年内で発表しました。これらの活動を通して、生徒たちの将来への展望が広がったものと思います。

いのちの支えあいの授業の様子



「未来の自分分析プログラム」



### 4年次「Personal Project 完結!」

4年次担当: 山崎 幸奈

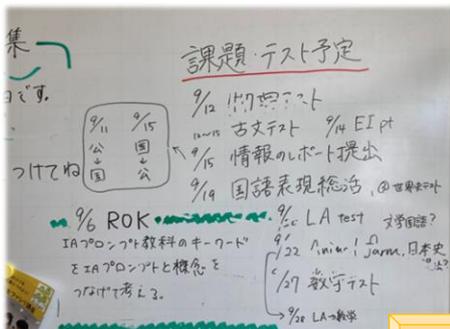
先日の Semester I 最終日に行われました、探究発表会にご参加頂いた保護者の皆様、誠にありがとうございました。4年次は、この探究発表会をもちまして、4月から3G Project の授業で行ってきた Personal Project が無事終了いたしました。Personal Project は、MYP4年間の学びの集大成ともいえる活動です。1学年の頃から3G Project の授業を通して、探究の方法を練習し、積み重ねてきました。3学年の Semester2には、Pre- Personal Project として一人ひとり探究するテーマを決め、Personal Project への助走をしてきました。4年次は1~3年と比べ、授業時間が短いなかで、個人の興味や経験に基づいたテーマについて、さらなる探究を重ねました。限りある放課後の時間や夏休みも計画的に活用しながら、この半年間プロジェクト完成のために努力をしてきました。学校外の団体とコンタクトを取って活動を広げた生徒、大学の教授に成果物の添削を依頼した生徒、外部のコンテストに挑戦した生徒、学校内にとどまらない様々な活動に挑戦し、また一つ成長することができたのではないのでしょうか。この先の5・6年次でも、個人での探究は続いていきますので、今回の経験や反省を自分の成長に生かしてくれることを願っています。



### 5年次「千里の道も一歩より」

5年次担当: 北川 嘉則

5年次も早いもので折り返しの季節を迎えました。これまで学年を通じて、進路実現に向けて「前提を整える」ことを目標に掲げてきました。夏休みも終わり、生徒たちは総括課題などに追われる日々を過ごしていますが、自己調整力を高め、計画的に学習を進める姿もみられるようになってきました。一方で、体調管理も含めて生活面に課題を抱えている生徒も散見されます。大学入試のスケジュールを考えたときに、あと1年という期間は確かに短いように感じます。しかし、学習の成果は学習のみで向上するものではありません。日々の規則正しい生活習慣や、ルールを守る自律的な精神などが身につくことで学習に集中できる環境が整い、学習の効果も高まるのではないのでしょうか。だからこそ日々の一つひとつの取り組みに意味を持たせて徹底することが、これからの1年を有意義に過ごすために重要なことであると学年団としては考えています。ご家庭におかれましても、Semester I を振り返り、学習の成果のみならず、その基礎となる生活面・精神面の成長や課題についても共有していただければ幸いです。



総括課題に意欲的に取り組みました。